

# 1 総説

## 1.3 土地、建物、施設

平成26年3月末現在における事業所・施設等の現状を付表2(236～239頁)に示す。

電波研究所発足当時からの経緯、関連事項等は電波研究所二十年史、創立30周年記念「最近十年間の歩み」、通信総合研究所40年史「電波研究所から通信総合研究所

へ」、通信総合研究所50年史「新たな飛翔 最近の通信総研の軌跡」に詳しく述べられている。

ここでは、独立行政法人となった平成13年度以降、年度ごとに本部をはじめとする各事業所・施設等において、整備された主な土地、建物について述べる。

平成13年度	<p><b>沖縄亜熱帯計測技術センター庁舎の建設</b>            構造：鉄筋コンクリート造 2階建            建築／延床面積：1,721.04／2,537.71㎡</p> <p>中城村にあった沖縄電波観測所の施設については、周辺一帯で沖縄県の大規模公園計画が進められ、さらに隣接の中城城が「琉球王国のグスク及び関連遺跡群」の1つとして世界遺産に指定される運びとなったことから、沖縄県より観測所移転の可能性について打診があった。このため、恩納村(恩納村字恩納野原、敷地面積28,636.00㎡)に移転することとなった。</p> <p>1階には常設展示場を設け、地球環境や情報通信の先端技術に関する展示を行うとともに、地元にも役に立つ環境情報の提供や、インターネットなど情報通信にふれあう環境の提供なども行っている。</p>
平成14年度	<p><b>けいはんな情報通信融合研究センターの建物取得</b>            構造：鉄筋コンクリート造 地下1階付3階建            建築／延床面積：4,231.15／13,230.92㎡</p> <p>関西文化学術研究都市(愛称：けいはんな学研都市)における、産学官の協力と連携のもと、ユニバーサルコミュニケーション技術の研究開発の推進、拡大及び充実のため、建物を取得。            ※土地(15,000.70㎡)については、新日鐵住金株式会社(旧：住友金属工業株式会社)から賃貸。</p> <p><b>本所セキュリティ集中管理棟の建設</b>            構造：鉄筋コンクリート造 1階建            建築／延床面積：145.86／126.00㎡</p> <p>本所施設の拡大に伴うセキュリティ機能の拡充及び陳腐化した防災機器の更新とともに、防災機能の拡充を行うため、狭隘となった建物の建替えを行った。</p>
平成15年度	<p><b>本所ネットワーク時刻認証棟(2号館)の建設</b>            構造：鉄筋コンクリート造 4階建            建築／延床面積：1,802.20／5,453.11㎡</p> <p>総合的なネットワークセキュリティ実験環境の整備のため、旧2号館跡に建設。</p>
平成16年度	<p><b>小金井本部産学官研究交流棟の建設</b>            構造：鉄筋コンクリート造 3階建            建築／延床面積：541.76／1,521.37㎡</p> <p>研究交流及び起業の推進とゲストルームの拡充のため、2号館横(東側)に建設。</p>
平成17年度	—
平成18年度	<p><b>サロベツ電波観測施設の敷地取得</b>            敷地面積：54,118.00㎡</p> <p>稚内電波観測施設周辺は市街化が進み、周辺からの電波ノイズの増加により観測データの質が著しく劣化していること、また、施設自体の老朽化も進んでいることから、観測、設置条件を満たす移転先として天塩郡豊富町内の土地を取得。</p>
平成19年度	<p><b>本部特別高圧受電所の建設</b>            構造：鉄筋コンクリート造 1階建            建築／延床面積：238.53／231.22㎡</p> <p>ネットワーク時刻認証棟(2号館)等の建設に伴う電力需要増加及び、将来の電力需要増加に対応するため、特別高圧受電所を建設。</p>

平成20年度	<p><b>本部電離層観測・試作開発棟の建設</b>          構造：鉄筋コンクリート造 2階建          建築／延床面積：699.99／1,008.11㎡          電離層観測施設の更新及び旧3号館の取壊しに伴う、機械工作室の移転先として、旧電離層観測棟の跡地に電離層観測・機械工作の統合施設を建設。</p>
平成21年度	<p><b>横須賀研究所 YRP センター 2 番館 3 階、4 階の取得</b>          構造：鉄骨造7階建          延床面積：818.49 +818.49 =1,636.98㎡          (301号室+401号室)          新たなワイヤレス・ブロードバンド環境の早期実現に向けたシステムの研究開発及び相互接続試験等を実施するため取得。</p>
平成22年度	<p><b>本部総合電波環境研究棟(3号館)の建設</b>          構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階付6階建          建築／延床面積：2,665.10／12,491.53㎡          無線通信に必要な電波技術や電波環境(EMC)技術に関する研究・開発のため、わが国有数の規模と性能を有する電波暗室群を建設すると共に、本部敷地内に分散している実験室、居室等の集約による業務の効率的な運営のため、建設。</p>
平成23年度	—
平成24年度	<p><b>脳情報通信融合研究棟の建設</b>          構造：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造 地下2階付5階建          建築／延床面積：1,661.06／9,818.83㎡          脳情報通信分野における基礎から応用展開までの研究開発を、国立大学法人大阪大学との連携を軸に、産学官との連携も強化しつつ効果的に実施するため、国立大学法人大阪大学吹田キャンパス内に脳情報通信融合研究棟を建設。          ※土地(4,074.70㎡)は、国立大学法人大阪大学から賃貸。</p>
平成25年度	<p><b>ユニバーサルコミュニケーション研究所の土地取得</b>          敷地面積：26,616.00㎡          研究棟用敷地及びモバイル・ワイヤレステストベッドの M2M データセンター整備のため用地を取得。</p> <p><b>ワイヤレスネットワーク研究所 YRP センター電波暗室設備の取得</b>          構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 1階建          床面積：590.69㎡          ワイヤレスセンサーネットワーク及びスマートユーティリティネットワークの研究開発により防災・減災機能の強化、社会インフラの維持・管理に資するため、その研究・実証基盤の整備の一環として取得。          ※土地(380.48㎡)は、横須賀リサーチパークから賃貸。</p> <p><b>ワイヤレスネットワーク研究所 YRP センター 2 番館 5 階の取得</b>          構造：鉄骨造 7階建          延床面積：818.49㎡(501号室)          ワイヤレスセンサーネットワークを用いて防災・減災機能の強化、社会インフラの維持・管理そして新産業・雇用を創出するため取得。</p> <p><b>耐災害 ICT 研究センター研究棟の建設</b>          構造：鉄骨造 4階建          建築／延床面積：535.24／2,185.63㎡          産学官が連携して情報通信ネットワークの耐災害性の強化を目的とした研究開発を推進するため、国立大学法人東北大学と協力して国立大学法人東北大学片平キャンパス内に、研究棟を建設。          ※土地(1,225.05㎡)は、国立大学法人東北大学から賃貸。</p> <p><b>本部光空間通信実験棟小金井局の建設</b>          構造：鉄骨造 2階建          建築／延床面積：85.54／155.26㎡          災害観測等を行う衛星や航空機等からの大容量データ通信に有効な光空間通信技術について、国内外と連携した実証を可能とする実験設備を建設。</p>